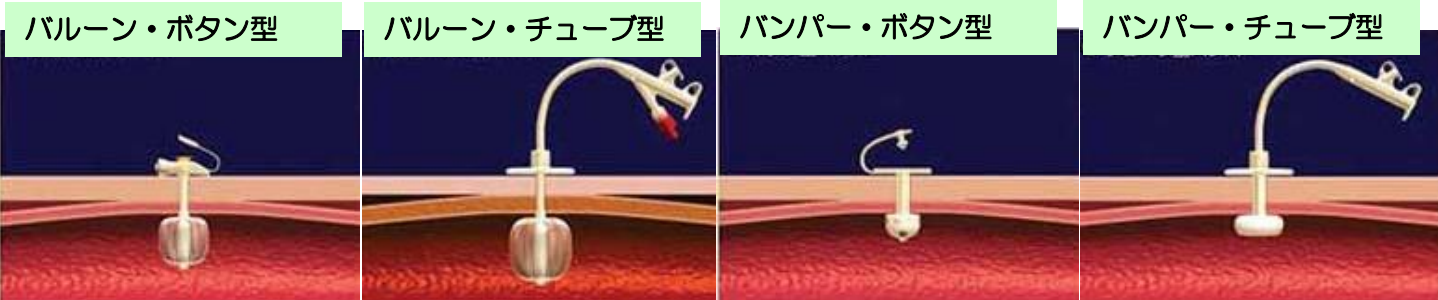




胃瘻カテーテルの種類について

胃瘻カテーテルは、胃内は「バルーン型」と「バンパー型」の2種類、体外は「ボタン型」と「チューブ型」2種類があります。



【特徴】

〈バルーン型〉 長所：バルーン内の蒸留水を抜いて挿入・抜去するので、交換が容易である。
 短所：バルーンが破裂することがあり、短期間で交換になることがある。
 定期的にバルーン水の管理が必要である。

〈バンパー型〉 長所：カテーテルが抜けにくく、交換までの期間が長い。
 体格に合わせて容易にシャフト長が変更できる。
 短所：交換時に痛みや圧迫感を生じる。

* 定期交換について：バルーン型は1～2ヶ月、バンパー型は4～6ヶ月

〈ボタン型〉 長所：目立たず動作の邪魔にならないために自己抜去がほとんどない。
 栄養剤の通過する距離が短いので、カテーテルの汚染が少ない。
 逆流防止弁がついている。

短所：指先でボタンを開閉しづらい場合がある。

〈チューブ型〉 長所：投与時に栄養チューブとの接続が容易である。
 短所：露出したチューブが邪魔になり自己抜去しやすい。
 チューブ内側の汚染が起きやすい。

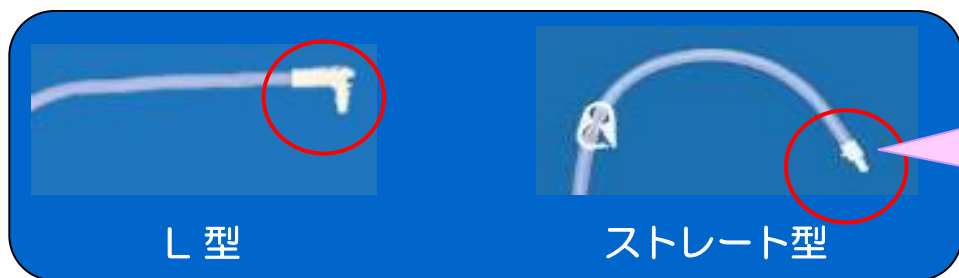
胃瘻カテーテルは1日1回は回転させて下さい。固定位置を変える目的とバンパー埋没がないことの確認のために必ず行いましょう。

当院では、バンパー・ボタン型で胃瘻造設・交換を行うことが多くなっています。

ボタン型での栄養投与には、接続チューブを取り付けて投与する必要があります。

当院採用のエンドピブ セルシンガーPEGキットの場合、接続チューブは、持続投与チューブ（L型）とボラス投与チューブ（ストレート型）の2種類あります。

液体栄養剤の場合には、どちらのチューブを使用しても投与できますが、半固形栄養剤の場合には、L型のコネクター部が細くなっているため、ストレート型で注入して下さい。



L型

ストレート型

半固形栄養剤は、
ストレート型の短いチューブを
使いましょう！